図柄入りナンバープレート等に関する検討会

議事概要

1. 日時：令和7年2月14日（金） 15：00～16：30
2. 場所：国土交通省低層棟共用会議室6
3. 出席者：石田委員、今田委員、岡安委員、北嶋委員、竹岡委員、寺井委員、
吉田委員（50音順）
4. 議事概要
 - (1) 資料1、2の説明後、資料1、2について議論を行った。
 - (2) 資料3の説明後、資料3について議論を行った。
 - (3) 資料4の説明後、資料4について議論を行った。
 - (4) 資料5の説明後、まとめを行った。

（委員からの主な意見）

<資料1、2について>

- 資料2のP4④について、フルカラー版の選択肢は「通常のナンバープレートの色が好きではないため」と記載してある一方で、⑤のモノトーン版の選択肢は「ナンバープレートをなるべく白く見せたいから」と記載してある。記載の仕方が異なるので、選択肢の書きぶりをそろえておいたほうが良いのではないか。
- 資料2のP10①の選択肢で、合計の支払い額が増えることになるので困ると記載してあるが、困って抽選に参加しないという話なのか、困るが抽選に参加するという話なのかは意味が微妙に違う。現状の選択肢だと意味がはっきりしないのではないか。
- 今回のアンケート結果で結論を出したい方向性というのは、設問を拝見していると、モノトーン版を廃止するという話と、モノトーン版は存続し寄付金1,000円以上にするという話と、現行の制度のまま継続するという3つある。もしかすると、車の車種や色に対して、デザイン的にフルカラー版が合わないからモノトーン版を選択している方が多いということであればモノトーン版を廃止しづらくなるのではないか。

- 業界サイドから言うと、非常に種類が多いことによる生産効率の問題や保管場所確保等の維持費等のコストを減らしたい。そのため、フルカラー版とモノトーン版どちらか1つにしていただけると良い。軽自動車のユーザーの方は恐らく、ナンバープレートが白く見えるため、モノトーン版の存続を望むのだろうが、この図柄入りナンバープレートの制度から考えると本末転倒な気がする。
- モノトーン版のデザインが良いとされるケースは地域によってある。図柄を1種類にする場合、フルカラー版ではなくモノトーン版を存続させることも可能なのではないか。
- 軽自動車でモノトーン版の図柄入りナンバーを選択されている方から、モノトーン版廃止反対の声が多かった場合に、このアンケートの結果を踏まえて、どのように配慮するのかは重要になるのではないか。また、今回のアンケート結果のみで、結論を決めるのではなく、判断材料の一部として使用するということが適切だと思う。
- 運輸局を通じてディーラーなど、色々な人のご意見を聞いておくということも併せて考えておいたほうが良いのではないか。
- 資料2のP10①は複数回答でも良いのではないか。また、全般的に複数回答以外は単一回答と記載する方が丁寧で良いのではないか。
- ユーザーに対して図柄入りナンバープレートの制度を説明しているのはディーラー等のため、ディーラーの説明内容や国土交通省等から渡している資料が分かりづらい等のことで図柄入りナンバープレートの制度が伝わらない理由の背景にある場合も考えられるので、このアンケートだけで結論は決めない方が良いのではないか。
- もし予算が許されるのであれば、もう少しサンプル数を多めに取っても良いのではないか。
- 車を買換えた際に希望ナンバー等のナンバープレートについて、ディーラーから話がなかったため、ディーラーに対して啓蒙活動をするところから始めないと、図柄入り

ナンバープレートは広がって行かないのではないか。運輸支局等での手続も業者がほとんどのため、ディーラーに協力してもらうのが良いのではないか。